

会 議 録

会議名	平成24年度第1回山陽小野田市文化財審議会
開催日時	平成25年2月6日(水) 午後1時30分から午後5時
開催場所	教育委員会会議室ほか
出席者	上田蕃穂、河野豊彦、酒井秀介、嶋田紀和、瀬口哲義、徳重壽美雄 松永保美、吉本一雄
欠席者	なし
事務局	江澤正思(教育長)・芳司修重(社会教育課長)・和西禎行(課長補佐) 福田政晴(主査兼文化振興係長)・佐貫政彰・石原さやか
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会のことば 2 辞令交付 3 教育長あいさつ 4 委員・事務局紹介 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) ハマセンダンの市指定について (2) ふるさと文化財について (3) 石碑について 6 視察(竜王山のハマセンダン)
会議結果	<p>5 議題</p> <p>(1) ハマセンダンの市指定について 幹回り5.2mある竜王山に生息するハマセンダンは、日本一の大きさで瀬戸内海に生息する東端であると思われることから、市指定天然記念物に指定することを文化財審議会に諮問した。その結果、他の場所で生息するハマセンダンに波紋状の症状が出て枯れているので、同じ状態に陥らないよう対策をとることを条件に指定する価値があるとの意見だった。3月下旬の文化財審議会で、その旨の答申書を出していただく予定である。</p> <p>(2) ふるさと文化財について 文化財保護条例に基づく指定はしていないが、それに準ずる価値がある文化財を「ふるさと文化財」として登録することで、市民のふるさとに対する誇りを高めるとともに、市外の人に対して観光地としてアピールしていきたい。登録は、所有者の申請に対して教育委員会が決定するが、その際に文化財審議会の意見を伺うことについて了承を得た。</p> <p>(3) 石碑について 戦前に赤崎小学校に建てられた奉安殿に関する石碑が残されていることについて、その文化財としての価値を議論した結果、価値は認められないとのことだった。</p>

